１１／２１　校長室より №323

今日の朝会で、学習担当の布川先生から**「話の聞き方」の重要性**について話がありました。かつて布川先生が山形市内のある中学校に研修に行った時のこと、ある学年の学力がとても高かったのでその理由を聞いたところ、「この学年の生徒は“聞く力”があるんです。」とのこと。学力の高さというものは“聞く力”に大きく関係するということです。先生の話すことに耳を傾け、聞き逃さないようにする。先生が授業の中で、どういう順番でどういう内容のことを話したか、後から繰り返して言える。それくらい集中して聞ければ、確かに学力が付くでしょう。

もちろん、教師の側も生徒諸君の聞く力を高めるために努力しなければなりません。話し始める前に手の動きを止めさせ顔を上げさせる、何回もくどくどと説明しない、ポイントを押さえ言葉を吟味して簡潔に話す。これらのことを確認しています。

朝会の後各教室を回ると、そこには、顔を上げ話し手の方を向いていつも以上にしっかり話を聞こうとする生徒諸君の姿がありました。この状態を、生徒も教師も大切にしながら継続していけるよう努めていきます。